



エコ・ファーストの約束

～ 2011年夏の節電について～

環境大臣 松本 龍 殿

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員

石井 直

株式会社電通は、本年7月～9月の東京本社ビルのピーク時最大電力(昨年7月～9月実績5,760kW)を15%削減すべく以下の取り組みを進め、節電に努めます。

同様に、1日当たりの電力量の最大値(昨年夏の実績89,320kWh)についても15%削減すべく取り組みを進めます。

また、広告サービスをはじめとしたコミュニケーション活動を推進する企業として、パートナー企業・組織等を積極的にサポートし、電力使用量15%削減が達成されるよう働きかけてまいります。

1. 東京本社ビルのピーク時最大電力および最大電力量を15%削減するための対策

- コジェネレーションシステムを最大活用し、系統電力への依存を削減します。
- 空調機の運転をコントロールし室温を28度設定とします。
- クールビズを1カ月前倒して5月から実施します。
- 既に導入済みのLED照明を、さらに詳細な照明スケジュールで運用。さらに全館一斉消灯の回数を増やし消費電力を削減します。
- エレベータの稼働台数を減らすとともに、時間帯による運行調整を行います。
- 電気温水器、便座暖房機の夏期停止を継続。さらに、離席時のパソコン電源、退社時のコピー機・プリンター電源、電気ポット・テレビの待機電力などのOFFを徹底します。

2. 社員の節電への取り組みの推進

- 毎年社員とその家族から募集し、社内クリエイターによりポスター化している「環境スローガン」のテーマに、「節電」を取り上げます。
- 6月の環境月間では、セミナー、社内報などを通じて、社員が家庭で効果的な節電に取り組むための情報を提供します。
- 環境省「CO₂みえ～るツール」を社員に奨励します。

3. コミュニケーション活動による節電の取り組みへの支援

- 「DENTSUグリーンイベントガイド」を活用し、「節電」に配慮したイベントの実施を推進します。
- 日々の業務においても積極的に新しい省エネ型のライフスタイルを提案していきます。